

未知なる日常

【第1期】 2014年8月2日(土)～9月28日(日)

【第2期】 2014年10月11日(土)～11月30日(日)

トーキョーワンダーサイト本郷

トーキョーワンダーサイト(TWS)のレジデンス・プログラムに近年参加したクリエイターの中から、その鋭い洞察力をもとに身の回りの素材を咀嚼し、作品制作に取り入れる6組のクリエイターによる展覧会を2期にわたり開催します。

本展では、それぞれのクリエイターが東京、ベルリン、ストックホルム、ソウル、メルボルンの5都市で滞在制作を通じて文化に触れ、そこで獲得した新しい視座や、その後の制作活動への影響、変化が垣間見える作品を展示します。ありふれた日常や風景に対する私たちの見方にも、少しの変化と豊かな創造力を与えてくれることでしょう。

会期中にはギャラリートーク、環境音や日用品を用いたワークショップ他、TWSアートカフェでの関連展示も開催予定。

展覧会概要

- 展覧会名: 未知なる日常 (英語タイトル: Unseen Daily Life)
- 会期: 【第1期】2014年8月2日(土)～9月28日(日)
【第2期】2014年10月11日(土)～11月30日(日)
- 会場: トーキョーワンダーサイト本郷 (東京都文京区本郷2-4-16)
- 開館時間: 11:00～19:00 (最終入場は30分前まで)
- 休館日: 月曜(祝日の場合は、翌火曜日)
- 入場料: 無料
- 主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
- アーティスト: 【第1期】土屋信子、スズキユウリ、ルオ・ジーシン(台湾)
【第2期】三田村光土里、魚住哲宏+魚住紀代美、ルイス・ウルクロ(スペイン)
- 提携機関: ベルリン市/クンストラウム・クロイツベルク/ベタニアン(ドイツ)、MMCA レジデンシー・コヤン(韓国)、アーツ・イン・レジデンス台北(台湾)、アジアリンク/モナッシュ大学(オーストラリア)、イアスピス(スウェーデン)、スペイン文化活動公社/マタデロ・マドリード(スペイン)
- 協力: SCAI THE BATHHOUSE、CLEAR EDITION & GALLERY、Bambinart Gallery



Kunstraum Kreuzberg/Bethanien



iaspis

Konstnärrådets internationella program för bild- och formkonstnärer



ウェブサイト: <http://www.tokyo-ws.org>

レセプション: 【第1期】2014年8月2日(土) 18:00～20:00 * 同日 16:00～17:00 ギャラリートーク開催
【第2期】2014年10月11日(土) 18:00～20:00 * 同日 16:00～17:00 ギャラリートーク開催

<お問い合わせ >

〒130-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内
公益財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト 広報担当: 石川
TEL: 03-5602-9881 E-mail: press@tokyo-ws.org
★TWSオフィスは東京都現代美術館内に移転しました。

展覧会について

トーキョーワンダーサイト(TWS)では、海外の都市やレジデンス施設、芸術文化機関と連携して、クリエイターを双方向に招聘・派遣するレジデンス・プログラムを実施しています。本展では、このプログラムに近年参加した国内外のクリエイター6組を紹介します。

この6組に共通するのは、普段から日常の生活と密接に関わるものを素材として制作活動を展開していることです。生活用品や家具から、日常生活で耳にする何気ない音や会話、時には道端で拾ってきた不用品など、身の回りのあらゆるものを作品に取り入れます。自分を取りまく環境に対して、その鋭い洞察力を通じて様々な素材や情報を咀嚼し、作品として新しいかたちにつくりかえ、それを空間に配置していくことで、その周辺の風景をも変容させていきます。

そんな彼らが異国という日常から離れた場所で、一定期間滞在しながら創作活動を行なうと、どのような影響が生まれるのでしょうか。普段とは違う環境に身を置くことで、より鋭敏になった感覚を通して、自分自身やそれぞれが探求する対象へと向き合うことができるのかもしれませんが。彼らが各都市の日常や風土に対峙することで、新しい価値を見出し、その背景に広がる社会や文化に対しての見方を変換させ、新しい視点による異文化のなかでの「交感」が創出されるのではないのでしょうか。

各クリエイターが滞在先の文化やそこにある日常に触れることで、新たに獲得した視座から導き出した、もうひとつの日常。それは生活をおくる人々にとって月並みな光景であっても、クリエイターの独創性によって再構築されることで、その背景に広がる多様な価値観が示唆されることでしょう。本展を通じて、ありふれたものごとに対する見方に少しの変化と豊かな創造性が生まれ、「未知なる日常」に触れて頂けたら幸いです。

関連イベント

* イベント日時・会場は変更になる場合もございます。詳細は後日当館ウェブサイトにて発表します。

【第1期】

8月2日(土)16:00～17:00 ギャラリートーク／会場:TWS 本郷／予約不要、日英通訳あり
出演:土屋信子、スズキユウリ、ルオ・ジーシン

8月24日(日)14:00～17:00 サウンド・ワークショップ／対象:18歳以上／会場:TWS 本郷／要予約
出演:スズキユウリ

9月20日(土)14:00～17:00 マテリアル・ワークショップ／対象:小・中学生／会場:TWS 本郷／要予約
出演:土屋信子

【第2期】

10月11日(土)16:00～17:00 ギャラリートーク／会場:TWS 本郷／予約不要、日英通訳あり
出演:三田村光土里、魚住哲宏+魚住紀代美、ルイス・ウルクロ

10月18日(土)14:00～17:00 マテリアル・ワークショップ／対象:18歳以上／会場:TWS レジデンス／要予約
出演:ルイス・ウルクロ

11月1日(土)14:00～17:00 サウンド・ワークショップ／対象:小・中学生／会場:TWS 本郷／要予約
出演:魚住哲宏+魚住紀代美

11月15日(土)10:00～12:00 Art&Breakfast／会場:TWS 本郷／要予約
出演:三田村光土里

【第1・2期共通】 TWS アートカフェ 24/7 coffee & roaster(TWS 渋谷併設)にて出展作家による関連展示も予定。

参加アーティスト プロフィール

【第1期】

■土屋信子 (Nobuko Tsuchiya)

神奈川県生まれ。横浜在住。2000-01年ゴールドスミス・カレッジ大学院美術学科(ロンドン)で学ぶ。主な展覧会に、「目を凝らす耳を澄ます」(SCAI THE BATHHOUSE、東京、2014)、「クワイエット・アテンションズ 彼女からの出発」(水戸芸術館、茨城、2011)、「Unmonumental: Object in the 21st century」(New Museum、ニューヨーク、2007-08)、第50回ベネチアビエンナーレ「Dreams and conflicts」(ヴェネチア、2003)などがある。

■スズキユウリ (Yuri Suzuki)

1980年東京生まれ。ロンドン在住。明和電機で5年間のアシスタントを経て、新進芸術家海外研修制度により、ロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートに入学し、「音楽とテクノロジー」をテーマに作品制作を行い、現在はサウンドアーティスト、プロダクトデザイナーとして活躍している。近年のプロジェクトに「Juke Box meets Tate Britain」(Tate Britain、ロンドン、2013-14)、「Garden of Russolo」(Victoria and Albert Museum、ロンドン、2013)、「Ishin-Den-Shin for Disney Research」(2013)などがある。また2014年8月22日よりポーラミュージアム アネックスにて個展開催。

■ルオ・ジーシン (Jr-Shin Luo)

1984年生まれ。台北在住。2010年国立台北芸術大学卒業。日常生活の中で見つけたオブジェクトから、まったく別のリアリティを創り出すことで、日常生活の痕跡や本来あるべき姿とは少しずれた感覚を呼び起こす、ユーモアある作品を制作している。近年の展覧会に「Sharon」(EsLite Bookstore Art Studio、台北、2014)、「Photographs / Sculptures」(Fotoaura Institute of Photography、台南、2014)、「The Other, The Distance」(湖北美術館、中国/高雄市立美術館、台湾、2014)など。今年開催される台北ビエンナーレに参加が決定している。

【第2期】

■三田村光土里 (Midori Mitamura)

1964年愛知生まれ。東京在住。2005年、文化庁海外派遣芸術家(フィンランド)。日常の記憶を題材に、写真、映像、言葉、日用品など様々な材料を組み合わせ、「人が足を踏み入れられる三次元のドラマ」と称するインスタレーションを展開する。近年の主な展覧会に、「そらいろユートピア」(十和田市現代美術館、青森、2014)、「虹の彼方—こことどこかをつなぐ、アーティストたちとの遊飛行—」(府中市美術館、東京、2012-2013)、個展「夜明けまえ」(GALLERY TERRA TOKYO、東京、2013)などがある。また、ライフワークとして滞在型アートプロジェクト「Art & Breakfast」を世界各地で開催している。

■魚住哲宏+魚住紀代美 (Tetsuhiro+Kiyomi Uozumi)

魚住哲宏：1980年愛知生まれ。2007年に愛知県立芸術大学大学院彫刻専攻を修了。

魚住紀代美：1981年和歌山生まれ。2004年に京都造形芸術大学美術工芸学科彫刻専攻を卒業。

2004年から共同制作を開始し、2007年よりベルリン在住。2007年から2009年までベルリン芸術大学イケムラレイコクラス聴講生在籍。2012年から音に同調する光を使ったインスタレーションを展開。日常の些細な出来事から物語を導きだし、拾い集めた音や物の断片を構成するインスタレーション作品を発表している。主な個展に「JUST A DOG」(super bien、ベルリン、2013)、「WAITING UNCERTAIN GREEN CIRCLE」(Institut fur Alles Mogliche、ベルリン、2013)、「STREAMING GREEN CIRCLE」(愛知県立芸術大学サテライトギャラリー、名古屋、2013年)などがある。

■ルイス・ウルクロ (Luis Urculo)

1978年マドリッド生まれ。マドリッドとメキシコシティ在住。2006年にEscuela Tecnica Superior de Arquitectura de Madridを卒業。空間を定義する「不可視なもの」についての表象や、その物語性の抽出などを主なテーマとして、建築における利用可能な道具や手法、形式についての再定義を基に作品制作を続ける。主な参加展覧会に「Lisbon Architecture Triennale」(リスボン、2013)、「Storefront for Art & Architecture」(ニューヨーク、2013)、「YAP MAXXI2011」(ローマ、2011)、「Fabrica Features」(リスボン、2009)、「第11回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展(スペイン館)」(ヴェネチア、2008)などがある。また今年9月には、初の個展をサンティアゴ現代美術館(チリ)にて開催予定。

広報用画像

*この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

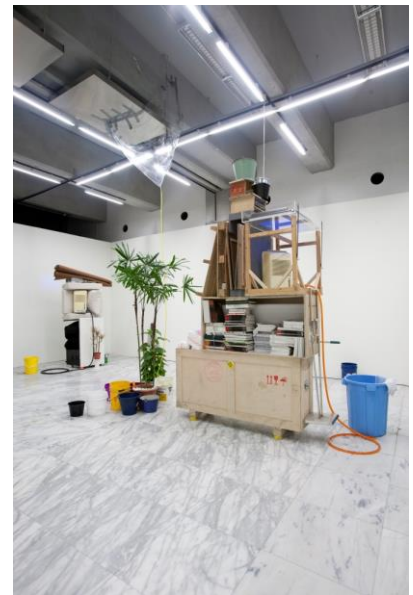
【第1期】



土屋信子
〈ラビットサーモン〉 2012



ルオ・ジーシン
〈バンケット〉 2013

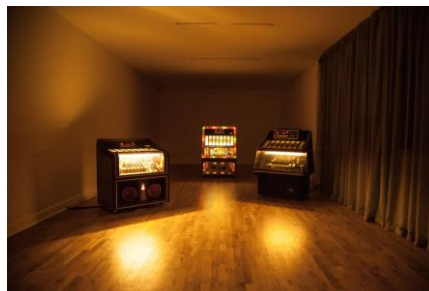


ルオ・ジーシン
〈ウォーター・シティ〉 2012

【第2期】



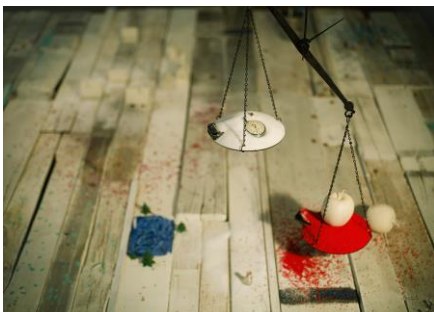
スズキュウリ
〈Garden of Russolo〉 2013



スズキュウリ
〈Juke Box Meets Tate Britain〉 2013 -14



三田村光土里
〈Art & Breakfast 一今が知る時きの、その重さをー〉 2011



魚住哲宏+魚住紀代美
〈曖昧の重さ〉 2012



ルイス・ウルクロ
〈ESSAY ON RUINS〉 2012



ルイス・ウルクロ
〈カバーズ〉 2011